

販売会社

全国にある(国内の販売会社)^{※1}では、事業活動を行っているそれぞれの地域のニーズに即した取り組みを継続的に行っています。

森林保全活動・美化活動・リサイクル品の回収 環境 地域

目的：森林保全、美化活動やペットボトルキャップ収集などを通じて環境保全に貢献する。

取り組み／2016年度実績

- 森林保全活動、美化活動
各地の販売会社で森林保全活動や環境美化活動(地域清掃、花壇設置など)を実施しています(19社)。
- ペットボトルキャップ・資源(段ボールや雑誌など)などの収集
発展途上国における治療のための寄付や、小学校に必要な物品を購入するための寄付を実施(11社)。

環境イベントへの参加 環境 地域

目的：環境イベントへの参加・出展を通じ、環境意識の啓発に貢献する。

取り組み／2016年度実績

地域で行われる環境イベントに参加・出展しました(1社)。

交通安全の推進、交通遺児の支援 安全 地域

目的：カーブミラーの清掃や交通安全の呼びかけなどを通じて交通安全に貢献する。

取り組み／2016年度実績

- カーブミラーの清掃
岡山マツダでは、毎年、春の交通安全県民運動期間に合わせ、交通安全に寄与する活動^{※2}として全店舗で各近隣の道路標識・カーブミラーの清掃や道路・歩道などの清掃を行っています。2016年度は、総勢179名が参加。マツダオートザム伊東では、カーブミラーの清掃・点検を実施、結果を警察署に届け出しています。 **a b**
- 交通安全啓発活動
北海道マツダ販売^{※3}をはじめ各地で交通安全啓発活動(立哨、近隣パトロール、交通安全パレード・イベント参加、女性向けマイカー点検教室の開催、ロードコーン寄付、反射材の配布など)を実施しています(13社)。
- 交通遺児支援のための寄付
西四国マツダでは、試乗していただいたお客さまの数に応じて寄付を実施^{※4}しました。その他、会社、および従業員有志による寄付やアイドリングストップ機構「i-stop」搭載車両販売台数に応じた寄付を実施(4社)。 **c**
- 敷地の一部を開放(歩道や陸橋通行用の場所として提供)(3社)。
- 店舗付近の通学路の除雪作業(1社)。

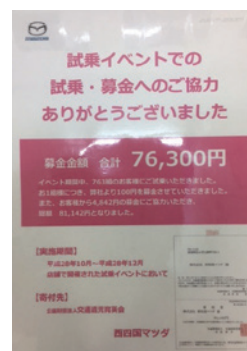
a 店舗近隣のカーブミラー清掃(岡山マツダ)



b 店舗近隣のカーブミラー清掃(マツダオートザム伊東)



c 試乗回数に応じた寄付ポスター(西四国マツダ)



環境 環境保全に貢献する取り組み **安全** 交通安全に貢献する取り組み
人材 次世代を担う「人」を育成する取り組み **地域** 地域に根ざした取り組み
財団 マツダ財団を通じての活動

※1 販売会社名は、以下(株)などを省いた略称で記載(P23-24)。
※2 岡山県警や交通安全対策推進協議会と連携した取り組み。岡山県警より岡山県警察本部交通部長賞(優秀賞)を受賞。
※3 自動車販売連合会主催の「交通安全人の波運動」に参加。北海道警察本部より自動車販売連合会に感謝状贈呈。
※4 (公財)交通遺児育英会より、あしながおじさん感謝証を受領。

学習支援・職場体験支援・講師派遣・インターンシップ受け入れ 人材 地域

目的：働くことの重要性や、働くことの素晴らしさについて考えてもらう。

取り組み／2016年度実績

- 小学生対象学習プログラム実施
東京マツダ販売では、2013年度から毎年、夏休み期間中に小学生を対象とした環境や安全について学ぶ学習プログラムを実施しています。理科や科学技術の楽しさを子どもたちに伝えることを目的としています。2016年度のテーマは、環境・安全教育「比べよう！クルマの今・昔～環境・安全性能を楽しく学ぼう」※1(24名参加)。 d
- 社会見学や職場体験受け入れ
関東マツダでは、毎年、地域の小学生の社会見学や中学生の職場体験の受け入れを行っています。2016年度は、小学生の見学受け入れ(2店舗・約60名)のほか、中学生の職場体験受け入れ(5店舗・約15名)を行い、ショールーム・工場での車検や整備の見学、洗車体験などを実施しました。 e
- その他、各地で地域の小中高生、大学生、専門学校生、特別支援学校生の見学、職場体験・インターンシップ受け入れ、講師派遣、セミナー、出前授業などを実施(27社)。
- 小学生向け新聞の寄贈により地域の小学校の学習を支援(1社)。
- 整備士資格取得のための奨学金制度を設置(2社)。
- 近隣の小学校で学校教育のための教室(薬物乱用防止教室※2など)を開催(1社)。
- ベルマーク収集を通じた、小学校への物品提供(1社)。

d 環境・安全教育「比べよう！クルマの今・昔」(東京マツダ販売)



e 職場見学(関東マツダ)



地域の活性化支援 地域

目的：施設開放、地域イベントへの参加や献血などを通して、地域の活性化に貢献する。

取り組み／2016年度実績

- 災害緊急待避所としての貢献
災害緊急待避所としての登録や地域の避難訓練に協力(2社)。
- 子育てや子どもの安全に関わる活動に登録・参加※3(9社)。
- 関東マツダでは、さまざまなイベントに、6店舗が協賛／参加しました。その他、地域のお祭りへの協賛や寄付、敷地内施設開放(駐車場やトイレなど)により地域のイベントを支援(11社)。 f
- 「第35回山口マツダ杯争奪山口少年サッカー大会」(2日間)を後援(1社)。
- AED※4提供協力施設として登録、設置(4社)。
- 献血活動への参加(駐車場などの施設開放含む)(11社)。
- がん検診を推進するためのポスター展示、PR用パンフレット配布を実施、平和ポスターコンテスト応募への協力(3社)。
- 地域の防災のために町内のパトロールを実施(1社)。
- 東日本大震災復興支援(ボランティア、日本赤十字社などへの寄付、車両提供、マツダオールスターゲームへの野球少年団招待、植樹)(4社)。
- 熊本地震復興支援(物資の提供、日本赤十字社などへ寄付)(4社)。
- 鳥取県中部地震復興支援(新聞社の募金に賛同)(1社)。
- 多方面への寄付の実施や車両貸与(学術・教育、盲導犬育成支援、スポーツイベント、地域イベントなど)(13社)。

f 地域のイベント支援(関東マツダ)



環境 環境保全に貢献する取り組み 安全 交通安全に貢献する取り組み
人材 次世代を担う「人」を育成する取り組み 地域 地域に根ざした取り組み
財団 マツダ財団を通じての活動

※1 マツダ(株)がプログラム開発し提供(監修:(公財)日本科学技術振興財団・科学技術館)。
 ※2 広島県薬事課と連携。
 ※3 子ども110番の店、上田市の「赤ちゃんステーション」として登録、広島県の子育て応援イクちゃんサービス参加店に加入など。上田市の「赤ちゃんステーション」:地域全体で安心して子育てできる環境整備の一環として、赤ちゃん連れて気軽に外出できるように、オムツ替えや授乳ができる場所として現在約70カ所に設置。
 ※4 AED(自動体外式除細動器):血液を流す機能を突然失った心臓に電気ショックを与え、正常な動きに戻すための医療機器。